

NPO法人 森づくり奈良クラブ

<会報 第83号>



事務局：(公財)奈良県緑化推進協会内
〒634-0033 橿原市城殿町459
TEL 0744-26-0200
FAX 0744-26-0201
メールアドレス: gvnc@nifty.com
ホームページ:
<http://gvnc.eco.cocan.jp>

1. 令和3年4月～6月の主な活動の記録

■4月10日(土)定例活動

穏やかな晴天の下18名が集まりました。チェーンソーや仮払機などの機器や鎌その他装備品を準備の後、開始前のミーティングスタートです。この時期でもあるので、お互いの距離を取りながら、全員マスクは必須。

奥理事長からの挨拶と周知から始まり、本日の作業予定について、メインの「モミジ谷の林内整備」(小野L)のほか「自然観察と清美活動」(鈴木前理事長)、および「頂上展望台南斜面の笹藪伐採」(平武L)の3班に別れ作業開始となりました。



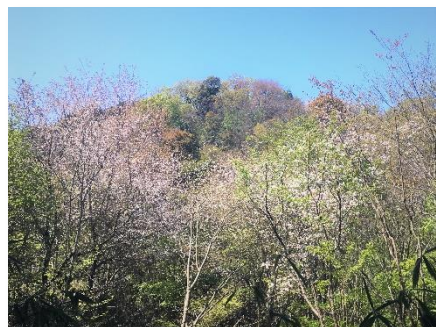
昨年7月から緑の募金の公募事業としてスタートした、峠池/メダカ池分岐からつつじが丘休憩所分岐点間の「モミジ谷の林内整備」も本日で最終日。仕上げとしての枯損木伐採とその集積・整理を終えた後、3月に植樹したモミジの植栽地の植栽手直しなどを行って公募事業完了です。



整備されたモミジ谷



みんなの森方面の自然観察と清美活動では、ヤマザクラ・ウワミズザクラなどの開花で春の訪れを確認しました。併せて周辺のごみ収集を行うも、よいハイカーばかりか収穫(?)はゼロ。よかったよかった



修理完了の頂上展望台

矢田山頂上展望台の奈良県による修理も完了し、以前植樹した桜などでいい雰囲気になっていました。更に親んでいただくため、南側斜面にはびこってきた笹に手を入れ豊かな植生を取り戻すための伐採を行いました。倒木や背が高く密な笹に大苦戦。

後日、続きを行うこととし、この日は終了としました。

■4月21日(水)自主活動

朝から少し暑さを感じる好天の下、6名が参集。

昨年から3年計画で取組中の「林野庁助成事業 矢田山三角点から頂上展望台への沿線整備」の2年目が開始です。ミーティングで奥理事長から「昨年1年でかなり進捗したため、今年はその補完及び手直しを中心に行う」旨の説明があり、チェーンソーや仮払機その他装備品を準備の後、三角点南側遊歩道付近に移動。

時間の経過とともに、熱中症になりそうな温度にまで上がるなか、枯損木の伐木・笹などの下刈り・倒木を含めた樹木集積と整理により、見違えるような良い状態になりました。お疲れさまでした。



作業開始前



作業終了時



■4月24日(土)定例活動

まずまずの天気の中、14名が参加。冒頭各種周知とともに、奥理事長より「コロナ感染拡大に伴う緊急事態宣言発出」を受けて、奈良県は発出対象外ではあるものの感染拡大は進んでいるため、当面5月の活動をすべて休止する旨の説明がなされました。残念ながらやむを得ない措置として、参加者から特に意見等出されませんでした。



背の高い笹に手こする

この日は4班に分かれ作業を開始。

- ①頂上展望台周辺整備班： 前回苦戦した頂上展望台南側笹藪の整備では、隠れた倒木に苦労したものの午前中で予定した部分の伐採が終わり、はびこってきた笹藪に代わり豊かな植生が現れるよう参加者一同祈りました。
- ②薪小屋再建築班： 危険なナラ枯れの伐木を薪として集成した小屋が破損し倒壊寸前のため、基礎+骨組みから再建することとし、本日からスタート。順調に作業は進み以前のものより本格的な小屋が近日完成する見込です。
- ③自然観察パトロール班： 平成の森～桜の広場～自然観察路B間をパトロール。平成の森では、モジ 2本、サウ3本の枯死確認。メダカ池のメダカも元気で、多くの野鳥も目にしましたが、折損した案内板やテーブル破損も確認しました。
- ④椎茸銀行手直班： 椎茸櫓木の手直しや補強を中心に整備し、午後には他班の協力も得て、美観を損ねる林道わきに放置されて朽木整理も実施。



薪小屋の修繕



大量の朽木の除去・整備



■5月2日自主活動、5月8日定例活動、5月19日自主活動、5月22日定例活動は新型コロナウイルス感染拡大により中止

■6月6日(日)自主活動



梅雨の蒸し暑い一日、7名が参集。
林野庁助成事業「矢田山三角点から頂上展望台への沿線整備」の2年目の2回目、チェーンソーや仮払機その他装備品を準備の後、三角点付近に移動。

今日は三角点に至る階段道横の危険なナラ枯れ枯損木の伐木と周辺整備を中心に行いました。
まずは伐採後放置された枯損木と松の枝払い・玉切りを行い集積して危険除去。次に昨年整備した階段そばで立枯れ、今にも折損・落下しそうなナラの木を順に伐採。危険な状態のものも多いので慎重に作業を進め10本弱の伐木を完了。最近増加傾向のハイカーの安全確保の一助となったと思います。



■6月12日(土)定例活動

珍しく天気にも恵まれた一日、13名が参加して定例活動。
冒頭に奥理事長から諸々周知の後、クラブの大先輩である川本忠男さんが5月下旬に逝去された旨のお話があり、参加者一同でしばしかつてのお元気な姿を偲びました。

この日は、頂上展望台周辺の除草班とみんなの森遊歩道の土砂崩れ復旧班の二手に分かれ、本日初体験参加の東さんも除草班に加わり、皆元気に作業開始。

展望台周辺は背の高い雑草に覆われ、植樹したモミジやサクラの幹も隠れるほど。植栽の周辺をツボ刈りした後、刈払機で丁寧に雑草を取り除き、見違えるほど整然とした景色になりました。



遊歩道の土砂崩れは粘土質の赤土が道の半分以上を覆い、力技で人力掘削と土砂の除去に励み、その後再発防止のための土止め柵を有資格者の指示のもと班員心ひとつにして完成させ、無事復旧を完了させました。



